



(19)日本国特許庁(JP)

実用新案公報 (Y2)

(11)実用新案出願公告番号

実公平7-31228

(24)(44)公告日 平成7年(1995)7月19日

(51)Int. Cl.

G03B 17/00

17/52

G03C 3/00

G03D 3/16

識別記号

Z

F

G

庁内整理番号

FI

RECEIVED

OCT 24 2002

Technology Center 2600

RECEIVED

技術表示箇所

JUL 18 2001

TC 1700

(全4頁)

(21)出願番号 実願昭62-35747

(22)出願日 昭和62年(1987)3月10日

(65)公開番号 実開昭63-141936

(43)公開日 昭和63年(1988)9月19日

(71)出願人 999999999

コニカ株式会社

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

(72)考案者 小星 重治

東京都日野市さくら町1番地 小西六写

真工業株式会社内

(72)考案者 久世 哲

東京都日野市さくら町1番地 小西六写

真工業株式会社内

(72)考案者 樽松 雅行

東京都日野市さくら町1番地 小西六写

真工業株式会社内

(74)代理人 弁理士 坂口 信昭

審査官 大元 修二

(56)参考文献 実開昭58-1930(JP, U)

(54)【考案の名称】カートリッジオープナーを有するディスクカメラ

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】撮影済みフィルムユニットをカメラにセットしたままの状態ではカメラ内に発色現像処理液等の処理液を注入して撮影済みディスクフィルムを現像等処理するディスクカメラにおいて、カメラ内に収納されている状態で、カートリッジを形成している2枚の板の結合部の全部又は一部を分離される構成であり、カートリッジにおける露光窓側板の上部両端部に接触して移動を阻止する一対のストッパと、ラベル側板の中央端部を押圧する中央押圧部材及び露光窓側板に形成されている開口部を通してラベル側板を押圧する一対の押圧部材とから成る押圧部材と、基部がカメラ枠体に取り付けられて支点となり回転動作で前記押圧部材を押し出す操作部材とで構成されるカートリッジオープナーを有することを特徴とするディスクカメラ。

2

【考案の詳細な説明】

〔産業上の利用分野〕

本考案はディスクフィルムを収納するカートリッジを形成している2枚の板の結合部の全部若しくは一部を分離させるカートリッジオープナーを内装しているディスクカメラに関する。更に本考案は撮影済みディスクフィルムをカメラにセットしたままの状態では現像処理するディスクカメラに関連する。

本考案においてディスクフィルムとは、コアに支持されたディスク状の写真感光材料を指し、このディスクフィルムは遮光構造のカートリッジに収納されてフィルムユニットが形成されている。また、本考案においてディスクカメラとは、上記したフィルムユニットを装着して写真撮影を行う撮影装置を指称する。具体的にはディスクフィルム(フィルムユニット)に関し、米国特許4,212,

673号、同4. 264. 169号、特開昭53-113525号、同55-101940号、同55-101942号、米国特許4. 202. 614号、特開昭53-113526号、同55-146437号、同55-146438号、全般に関し、「コダック・ディスクカメラシステムの全容」(写真工業1982年4月号26~41頁)に記載されている種類のものを指称する。

〔従来の技術〕

ロールフィルムを用いるカメラにおいて、撮影済みフィルムをカメラに装着したままの状態では現像処理するものが特開昭58-4130号公報に記載されているが、具体的な構成は示されていない。

従来、撮影済みディスクフィルムを現像処理するには、DPE取次店を通してラボと呼ばれる集中処理施設において、まず暗室構造の大型カートリッジオープナーを利用してディスクフィルムをカートリッジから取り出して、その多数枚を遮光構造のマガジンに移し代えてから大型の自動現像機にセットして処理している。

〔考案が解決しようとする問題点〕

所謂ミニラボと呼ばれる小型の自動現像機を用いて現像処理が例えば、1時間仕上げといったスピーディに行われるロールフィルムの場合と異なり、ディスクフィルムの場合、処理施設が偏在しているために中1日といった待ち時間を必要としている現状である。そこで、本考案者等は、ディスクフィルムを迅速かつ簡易に現像処理する小型の装置について研究を進めた結果、カメラ内で現像処理するとの着想に至った。

しかし、後述するように、ディスクフィルムは堅固なカートリッジに収納されており、手指でカートリッジを破壊してディスクフィルムを取り出すことは容易でないこと、ディスクフィルムの取り出しは暗室下で行う必要があること、ディスクフィルムをカメラに装着したままの状態では現像処理しようとするとき、ディスクフィルムがカートリッジ内に収納されたままでは処理液が偏在し現像ムラ等の処理ミスが発生させる虞があること等の克服すべき課題がある。

本考案は上記に鑑み、カメラにセットされたままの状態のディスクフィルムのカートリッジの少なくとも一部を破壊して処理液の供給・排出を容易にするカートリッジオープナーを有するディスクカメラを明らかにすることを主目的とするものであり、本考案の他の目的ないし利益は、以下の記述並びに添付図面から明白となるものである。

〔問題点を解決するための手段〕

本考案に上記目的は、撮影済みフィルムユニットをカメラにセットしたまゝの状態ではカメラ内に発色現像処理液等の処理液を注入して撮影済みディスクフィルムを現像処理するディスクカメラにおいて、カメラ内に収納されている状態で、カートリッジを形成している2枚の板の結合部の全部又は一部を分離させる構成であり、カートリッジにおける露光窓側板の上部両端部に接触して移動

を阻止する一対のストッパと、ラベル側板の中央端部を押圧する中央押圧部材及び露光窓側板に形成されている開口部を通してラベル側板を押圧する一対の押圧部材とから成る押圧部材と、基部がカメラ枠体に取り付けられて支点となり回動動作で前記押圧部材を押し出す操作部材とで構成されるカートリッジオープナーを有することを特徴とするディスクカメラにより達成されるものであり、以下、本考案の具体的構成を添付図面に従って詳細に説明する。

10 第1図及び第2図において、10はカメラ枠体、11は裏蓋である。装着されたディスクフィルムのカートリッジ20のラベル側板21の基端部22及び露光窓側板23の両端部24・24は、それぞれ裏蓋11から延長されたストッパ25・26により固定されている。

30は、カメラ枠体10に支持されて用意される押圧部材であり、その中央押圧部31は、ラベル側板21の中央端部27を押圧し、2本の押圧部材32・32は、露光窓側板23に形成されている開口部28・28を通して差し込まれてラベル側板21の端部を押圧する。

20 押圧部材30を作動させるには、操作部材33を利用する。即ち、操作部材33の基部を、カメラ枠体10に用意されている軸受部材34の開口に差し込んで支点とし、作動部35を押圧部材30の作動端部36に係合させた上で矢符方向に回動させれば、押圧部材30は矢符方向に平行移動し、その先端31・32に押圧されて、カートリッジ20のラベル側板21の端部は露光窓側板23との接合点が破壊されて第3図に示す状態に至る。この状態を維持するには、第2図に示すフック部材37を用いる。即ち、操作部材33をフック部材37の傾斜面に沿って移動させれば、フック部に容易に係合する。

30 カートリッジ20を第3図に示す状態に維持してカメラ内に処理液を供給すれば、開かれたカートリッジ20の周囲から処理液がカートリッジ20内に容易に侵入し、また排出させるのも容易である。

現像処理が完了したら、裏蓋11を開いてカートリッジ20を取り出し、手指でラベル側板21と露光窓側板23とを、例えば貝を開くような操作で引きはがせば、部分的に結合状態にある接合点も容易に破壊し得るので、簡単にディスクフィルムを取り出すことができる。

40 カートリッジオープナーの他の実施例は、第4図に示されている。即ち、操作部材33の基本的構成は第2図に示すものと同様であるが、この実施例のものにおいては、ラベル側板21の端部に接触して押圧を行う作動子38がカメラ枠体10に形成されている小孔内に配置されており、押圧部材33の作動部39を小孔に差し込んで作動子38を押圧することになる。

また、押圧部材33の基部を固定させるための軸受部材としては、第5図に示す如く、カメラ枠体10に凹部を設けて形成するようにすれば、第2図に示した態様の如く軸受部材34がカメラ枠体10に突出することがないので、有

益である。

【考案の効果】

本考案によれば、撮影済みディスクフィルムをカメラにセットしたままの状態で見像処理しようとするとき、簡単な操作でカートリッジの少なくとも1部を破壊することができるので、処理液のカートリッジ内への供給が容易であり、しかも、処理が完了した後でディスクフィルムの取り出しを極めて容易に行うことが可能となり、頭記した目的が達成できる。

【図面の簡単な説明】

第1図は本考案の1実施例を示す断面図、第2図は同じく斜視図、第3図はフィルムユニットの側面図、第4図及び第5図は他の実施例を示す斜視図である。

図中において、各符号は下記を指示する。

10: カメラ枠体

11: 裏蓋

20: カートリッジ

21: ラベル側板

22: ラベル側板の端部

23: 露光窓側板

24: ラベル側板の端部

25: ストッパー

26: ストッパー

27: ラベル側板の中央端部

28: 露光窓側板の開ロ部

30: 押圧部材

31: 押圧部

32: 押圧部

10 33: 操作部材

34: 軸受部材

35: 作動部

36: 作動端部

37: フック部材

38: 作動子

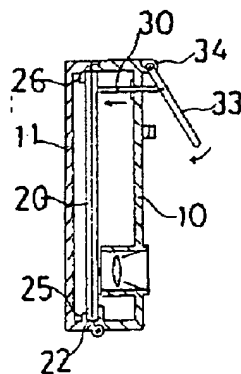
39: 作動部

40: 刃

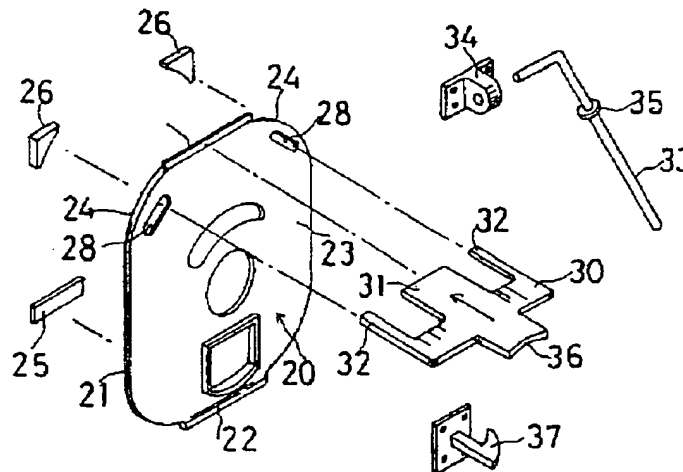
41: スクリュー

42: ガイド

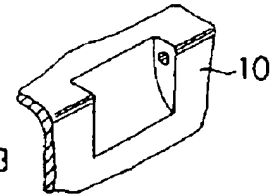
【第1図】



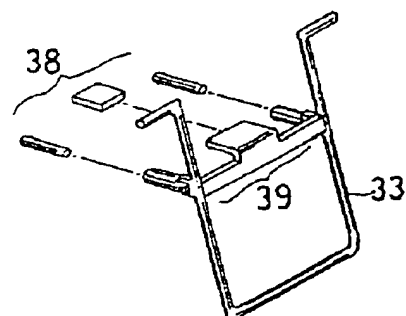
【第2図】



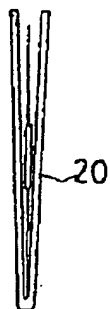
【第5図】



【第4図】



【第3図】



- 1 0 : カメラ本体
- 1 1 : 裏蓋
- 2 0 : カートリッジ
- 2 1 : ラベル銅板
- 2 2 : ラベル銅板の端部
- 2 3 : 露光窓銅板
- 2 4 : ラベル銅板の端部
- 2 5 : ストップバー
- 2 6 : ストップバー
- 2 7 : ラベル銅板の中央部
- 2 9 : 露光窓銅板の開口部
- 3 0 : 押圧部材
- 3 1 : 押圧部
- 3 2 : 押圧部
- 3 3 : 接触部材
- 3 4 : 接触部材
- 3 5 : 作動部
- 3 6 : 作動部
- 3 7 : フック部材
- 3 9 : 作動子
- 3 9 : 作動部